

第3章 市町村職員アンケート

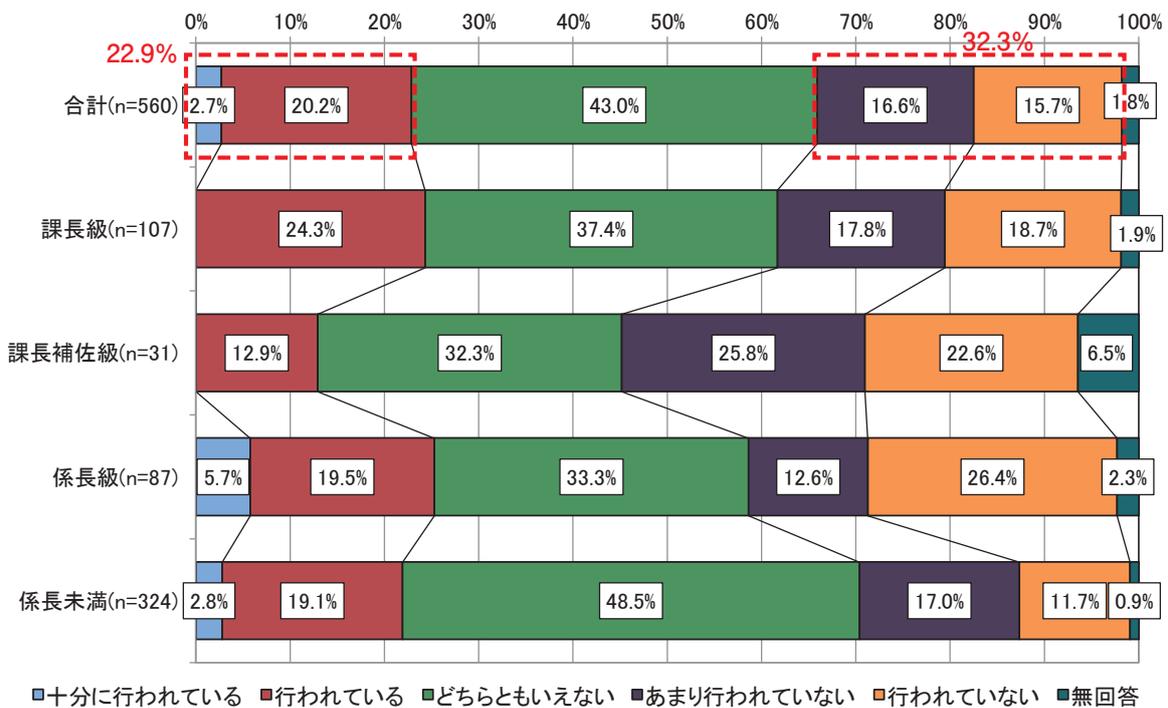
1. 住民理解・議会对応見直し

多様な働き方を実現する取組を推進するにあたっては、行政サービスに求められる内容が変わってきているという職員の認識もみられており、行政サービスの受け手である住民理解や議会对応の見直しも必要となっている。

(1) 住民への説明

取組推進への理解を得るための説明については、「十分に行われている」(2.7%)、「行われている」(20.2%)を合わせて22.9%であったのに対して、「あまり行われていない」(16.6%)、「行われていない」(15.7%)が合わせて32.3%となった。理解を得るための住民への説明があまり行われていないと認識している職員が多い【図表 II-30】。

図表 II-30 住民の理解獲得のための説明・周知の取組の状況（職階別）



(2) 議会对応の見直し

議会对応の見直しについては、「検討が行われた」(5.5%)、「検討中」(5.5%)、「検討予定」(5.0%)、「検討した取組を実施した」(2.0%)を合わせて18.0%であった【図表Ⅱ-31】。一方で、「わからない」が76.3%であり、取組はもちろん、取組の検討も十分に行われていない状況となっている。

図表Ⅱ-31 議会对応の見直し検討状況(職階別)

